

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

| | | | | | |
|------|------|---|---------------------|----------|------|
| 施策体系 | 政策 | 1 | 支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち | 担当部局(室)名 | 部局長名 |
| | 基本施策 | 3 | 地域福祉の充実 | | |
| | 施策 | 1 | 高齢者福祉 | | |

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるように介護予防、認知症ケア、医療と介護・福祉との連携、地域での生活支援を柱に施策を進め、地域包括ケアシステムの構築に努めています。今後、「超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの推進」のため、高齢者を取り巻く環境や地域体制等を検証しながら施策展開を図ります。

2. 令和3年度の実績内容及びその成果



- ・配食ボランティアや地域ささえあい活動など各地域の取組を推進・支援するため、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが、研修会や連絡会等を開催するとともに、生活支援活動者へのフォローアップ研修を実施するなど、活動団体間の情報共有や人材育成に取り組みました。
- ・軽度生活援助事業や訪問理美容サービス、外出支援サービス等高齢者福祉サービスを提供し、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続するための支援を行いました。また、緊急通報システム事業については、事業内容を見直し、委託先の看護師・保健師等の専門職による相談業務機能を追加しました。
- ・経済的又は家庭・生活環境等の要因で在宅での生活が困難な高齢者を、養護老人ホーム等に措置し支援を行いました。
- ・高齢者の生きがいづくりや社会参加、閉じこもり防止、認知症予防を促進することを目的とする老人クラブの取組を支援するため、補助金等の交付を行いました。
- ・在宅医療・介護連携推進事業では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、医療、福祉、保健従事者など関係職種が参加する多職種連携研修を実施し、在宅医療の推進とネットワークの構築に努めました。
- ・認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することで、認知症の人ができる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられることができるよう、平成29年1月から認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置しています。令和3年度は平成29年から令和2年度までの支援実績をまとめてこれまでの振り返りを行い、今後の支援体制の見直しを実施しました。
- ・認知症高齢者とその家族への応援者である「認知症サポーター」の養成講座の開催や、認知症高齢者やその家族が介護サービスを利用する際に参考となる、名張市デイサービス事業所一覧を作成、配布を行いました。また、認知症についての理解促進や社会資源の紹介をする「認知症ケアパス」に加えて、認知症予防のパンフレットを作成し、認知症への不安を抱える方の早期相談や早期対応に繋げました。
- ・コロナ禍でまちじゅう元気リーダーの活動の場が減少するなか、各リーダーのモチベーションを保持するため、「ペップトーク研修」を実施しました。やる気を引き出すコミュニケーションスキルについての講座を、各地域の市民センターや自宅とオンラインでつなぎ開催し、今後のコミュニケーションスキルを養い、モチベーションの保持にもつながりました。また、「いただきます」という映画を上映し、改めて食べることの大切さについて学んでいただいたり、VODを利用しながら、自宅でできる筋力アップの体操等を各地域にて啓発しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



| 施策指標(目標)の内容(単位) | | 基準値(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) | 2022(R4) | 進捗率 |
|---|----|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合(%) | 目標 | - | - | - | - | - | 80.5 | |
| | 成果 | 78.1 | 77.9 | 78.0 | 79.8 | 75.8 | | 0.0% |
| 地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことの65歳以上の市民の割合(%) | 目標 | - | - | - | - | - | 80.0 | |
| | 成果 | 70.4 | 69.4 | 71.7 | 70.9 | 70.4 | | 0.0% |
| 認知症サポーター養成数【延べ数】(人) | 目標 | - | - | - | - | - | 10,000 | |
| | 成果 | 8,433 | 9,503 | 10,736 | 11,195 | 11,346 | | 100.0% |

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・市民意識調査では「地域づくり活動に参加したことの65歳以上の市民の割合」は約7割で推移していますが、「生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合」がこれまでの結果より減少しています。コロナ禍により外出機会や様々な活動が制限されたことなども背景にあると思われ、高齢化が進む中で将来への不安についての意見もあり、引き続き高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるように取組を進める必要があります。
- ・認知症サポーターの養成数は微増となっていますが、認知症に対するさらなる理解と地域での居場所づくりが求められています。
- ・高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯が増加する中で、移動手段の確保の問題や、身元保証人がいないことからアパートの入居や施設入所が困難となることなどが課題となっています。
- ・地域ささえあい事業では、市内15地域においても生活環境や人口動態など地域の特性がある中で、未実施地域の取組促進が課題となっています。
- ・在宅医療・介護連携の推進には、市民への啓発や実務従事者のスキルや意欲の向上を一層図っていく必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止となっていた認知症カフェやステップアップ講座については、今後どのように活動を展開・支援していくのか調整していく必要があります。
- ・まちじゅう元気リーダーの活動に地域差があることやリーダーが高齢化しているため、それぞれの地域で活動できる体制づくりが課題となっています。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和4年度以降）



- ・第9期高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者福祉サービスを引き続き推進します。
- ・有償ボランティアによる地域ささえあい事業については、未実施地域での立上げ支援や既に取り組んでいる地域への運営支援を引き続き行っていきます。
- ・限りある地域の医療資源を効果的に活用するとともに、地域医療、介護、福祉関係者の連携を強化し、在宅医療患者とその家族を総合的に支援する地域包括ケアシステムのさらなる充実に努めます。
- ・認知症に対する理解、また家族や周辺者への理解を深めるため、サポーター養成講座の実施と認知症の方、家族、支援者、地域住民が集える認知症カフェの設置に引き続き取り組みます。
- ・コロナ禍での介護予防や認知症施策、地域活動の支援について、引き続き検証していきます。
- ・健康づくりや介護予防の取組を推進する、まちじゅう元気リーダーの新たな人材の育成と活動内容の充実に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

| 会計 | 事務事業名 | 部局名 | 室名 | 令和3年度内容 | R3決算額 (見込) | うち 一般財源 | R4予算額 |
|----|--------------------------|--------|------------|--|---------------|------------|---------|
| 一般 | 軽度生活援助事業 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 在宅生活を継続するため、軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者の世帯等を対象に家事及び軽作業等の援助を行いました。 ・登録者数 655人（令和4年3月末現在） | 3,857 | 1,850 | 4,615 |
| 一般 | 施設開設準備経費助成等補助金 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | コロナ感染症拡大防止対策として、地域密着型サービス事業者の家族面会室に係る経費の補助を行う。 ・小規模多機能型居宅介護事業所 1施設 3,384千円 | 3,384 | 0 | 1,029 |
| 一般 | 施設開設準備経費助成等補助金<令和2年度繰越分> | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | <令和2年度繰越分> 介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス施設を整備を推進するため、新規開設に係る準備経費の補助を行いました。 ・小規模多機能型居宅介護事業所 1施設 4,195千円（R3.6.1開設） | 4,195 | 0 | 0 |
| 一般 | 成年後見制度利用促進事業 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 高齢者やその関係者に、成年後見制度等に関する相談・助言、情報提供等の支援を行いました。また、伊賀地域福祉後見サポートセンターを中核機関に位置付け、実務担当者会議を開催する等、運営委員会の体制を強化しました。 | 4,583 | 4,583 | 4,584 |
| 一般 | 地域密着型サービス整備事業 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス施設を整備を推進するため、事業者の施設整備に係る経費を補助しました。 ・認知症対応型共同生活介護 1施設 7,437千円 | 7,437 | 0 | 0 |
| 一般 | 地域密着型サービス整備事業<令和2年度繰越分> | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | <令和2年度繰越分> ・小規模多機能型居宅介護事業所 1施設 33,600千円（R3.6.1開設） | 33,600 | 0 | 0 |
| 一般 | 養護老人ホーム運営事業補助金 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 市から移管した養護老人ホームみさと園に対し、緊急措置時に対応するため、補助を行いました。 | 1,806 | 1,806 | 1,859 |
| 一般 | 養護老人ホーム措置費 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 老人福祉法に基づき、経済的及び環境的理由により養護が必要な高齢者又は、やむを得ない事由等により自宅で生活することが困難な高齢者に対して養護老人ホームへの入所措置費用を負担しました。 ・市外施設措置者 7人 ・市内施設措置者 40人（令和4年3月末現在） | 126,130 | 106,645 | 132,148 |
| 一般 | 老人クラブ助成補助金 | 福祉子ども部 | 介護・高齢支援室 | 各単位老人クラブ及び名張市老人クラブ連合会の活動に対し、活動費用の一部を助成しました。 ・単位老人クラブ（37団体） ・名張市老人クラブ連合会 | 1,801 | 1,027 | 1,932 |
| 一般 | 一般介護予防事業 | 福祉子ども部 | 地域包括支援センター | 名張市社会福祉協議会への委託により、介護予防ボランティアに対し次の事業を実施しました。 ・介護予防に関する知識の普及啓発 ・介護予防に関する講演会や相談会の実施 ・介護予防に係る運動等介護予防に関する教室の通年開催を行う活動の場を提供 | 16,540 | 2,281 | 17,462 |